

科目名	ゼミナール1(演習)		科目ナンバー	CC-SE2251			
担当者 (実務経験名)	講師 大年 真理子(演奏家)						
履修期	2年 前期			卒業単位	必修 1単位		
免許・資格							
授業概要	ゼミナール1では、保育基礎1.2の活動をもとに、さらに保育者としての専門性を高め、幅広い人間形成を目指します。また、担当教員の専門性に触れ、新たな知識を収集し、専門的な思考や探求心を身に付けます。大年ゼミでは、保育者としての表現力アップを目指し、実践活動(絵本の読み聞かせ・歌唱・手遊び・音楽あそび等)を行うことや、子どもと音楽に関する疑問点や理解を深めたいテーマに沿って学びを進めていきます。						
到達目標	知識・理解	必要な情報収集を自発的に行い、収集した情報(知識)を的確に理解することができる。					
	思考・判断	収集した情報(知識)に基づき、活動の企画ができる。					
	興味・意欲・態度	メンバーと協力し合い、積極的に活動に参加できる。 様々な活動に対して興味・関心を示すことができる。					
	技能・表現	活動した内容を、わかりやすい表現でまとめ、発表する力を身につける。					
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	オリエンテーション		実習での子どもたちのかかわりを思い返しておく。		1	
	2	ゼミ内オリエンテーション		興味のある音楽あそび・活動を考えておく。		1	
	3	保育者としての表現技術を高めよう(歌)①		実習先での子どもたちの歌による表現を思い返しておく。		1	
	4	保育者としての表現技術を高めよう(歌)②		検討した内容を復習し、次の実践に生かせるようにしておく。		1	
	5	保育者としての表現技術を高めよう(歌)③		検討した内容を復習し、次の実践に生かせるようにしておく。		1	
	6	保育者としての表現技術を高めよう(歌)④		検討した内容を復習し、次の実践に生かせるようにしておく。		1	
	7	保育者としての表現技術を高めよう(器楽)①		実習先での子どもたちと絵本とのかかわりを思い返しておく。		1	
	8	保育者としての表現技術を高めよう(器楽)②		検討した内容を復習し、次の実践に生かせるようにしておく。		1	
	9	保育者としての表現技術を高めよう(器楽)③		検討した内容を復習し、次の実践に生かせるようにしておく。		1	
	10	音楽を伴う保育教材の検討(絵本)①		検討した内容を復習し、次の実践に生かせるようにしておく。		1	
	11	音楽を伴う保育教材の検討(絵本)②		これまでの実践内容を復習しておく。		1	
	12	音楽を伴う保育教材の検討(絵本)③		興味のあること、問題意識を持っていることを検討しておく。		1	
	13	音楽を伴う保育教材の検討(絵本)④		研究テーマに関する情報収集をしておく。		1	
	14	実践編 まとめ		研究テーマに関する情報収集をしておく。		1	
	15	実習に向けて・今後の活動について(ゼミ内情報交換)		研究に関連して実習において着目したい点を整理してお		1	
成績評価方法			知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験						
	レポート	○	○	○	○		30%
	課題	○	○	○	○		30%
	実技						
	受講状況・態度	○	○	○	○		40%
	その他()						
フィードバックの方法	提出された課題は、コメントを記入し返却します。						
教科書	適宜資料を配布します。						
参考書	授業の中で適宜紹介していきます。						
アクティブ・ラーニング	基本的にはグループワーク・個人研究による活動です。活発に意見交換を行い、発表に向けて継続的に取り組みます。						
ICT活用	インターネット等を利用し、日ごろから情報収集をしておきましょう。						
メッセージ・備考	自身の得意なことを活かすことも、苦手な面を伸ばすことも、自分の取り組み次第です。一緒に学びを深めましょう。						
関連科目	保育基礎1、保育基礎2、ゼミナール2						